



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
 コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大谷 郁夫
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-682-1010

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	145,975	7.7	13,771	19.4	15,004	29.3	9,497	34.4
25年3月期第3四半期	135,547	2.6	11,532	△1.2	11,602	2.7	7,066	△1.8

(注) 四半期包括利益 26年3月期第3四半期 20,886百万円 (186.0%) 25年3月期第3四半期 7,302百万円 (61.9%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	67.43	67.29
25年3月期第3四半期	50.17	50.09

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	269,940	204,850	202,515	75.0	1,437.91
25年3月期	253,803	188,004	185,840	73.2	1,319.47

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	28.00	28.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	7.1	12,700	49.4	13,200	20.7	9,400	19.3	66.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	143,378,085 株	25年3月期	143,378,085 株
26年3月期3Q	2,538,514 株	25年3月期	2,533,728 株
26年3月期3Q	140,842,583 株	25年3月期3Q	140,846,597 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
 - ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
 - ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
 - ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
 - ・直営店事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
 - ・WEB販売の強化による売上増加が達成できないリスク
 - ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
 - ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
 - ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
 - ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
 - ・海外事業に関連して増加するリスク
 - ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
 - ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
 - ・知的財産権に関連するリスク
 - ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
 - ・内部統制に関連するリスク
 - ・有価証券に関連するリスク
 - ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク
- これらの詳細については、当社の有価証券報告書をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第3四半期の業績概況

当社グループでは新たな3カ年中期経営計画(2013~2015年度)がスタートし、主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、多様化する国内レディスインナー市場への対応による売上シェアの拡大と、レディスインナー事業以外の体制整備、また海外事業の積極的な展開による成長力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期の連結業績は、為替の影響に加え、主に米国事業において売上が伸長したことや、一昨年4月に子会社化したワコールイヴィデンの業績が期初から加わったことなどにより、全体の売上高は前年同期を上回りました。利益面では、ワコールイヴィデンの連結や、海外子会社において利益が拡大したことなどにより、営業利益は前年同期を上回りました。

●売上高	1,459億75百万円	(前年同期比 7.7%増)
●営業利益	137億71百万円	(前年同期比 19.4%増)
●税引前四半期純利益	150億4百万円	(前年同期比 29.3%増)
●当社株主に帰属する四半期純利益	94億97百万円	(前年同期比 34.4%増)

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業(国内)

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、一部の商品やチャネル別ブランドは消費者の支持を得て好調に推移しました。主力アイテムのブラジャーは回復基調にあるものの、天候不順の影響に加えボトムや肌着商品が苦戦し、事業部全体の売上は前年同期を下回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、主力アイテムのブラジャーは「からだのエイジング」に基づいた商品や高級ラインの商品が苦戦しましたが、大手得意先との協働商品は展開店舗数が拡大したことなどにより、堅調に推移しました。メンズインナーはシニア向け商品が好調に推移しましたが、シーズン商品は苦戦し、事業部全体の売上は前年同期を下回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI(アンフィ)」は既存店が苦戦しましたが、展開店舗数の増加などにより売上を伸ばしたことや、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」が堅調に推移したことにより、事業部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X(シーダブリューエックス)」ブランドは、スポーツ用タイツが競合品の影響を受けたものの、スポーツチェーン店の出店拡大などにより、売上を伸ばしました。また、機能性の高いビジネスパンプスなどが堅調に推移したことなどにより、事業部全体の売上は前年同期を上回りました。

通信販売事業部につきましては、インターネット販売が好調に推移しましたが、カタログ販売は冬号カタログの苦戦や客単価が減少したことなどが影響し、事業部全体の売上は前年同期を下回りました。

これらの結果、ワコール事業(国内)セグメント全体の売上は前年同期並みとなりましたが、営業利益は経費抑制などが奏功し、前年同期を上回りました。

●売上高	897億59百万円	(前年同期比 0.4%減)
●営業利益	93億61百万円	(前年同期比 4.7%増)

b. ワコール事業(海外)

米国ワコール(4~12月)は主力販売チャネルである百貨店を中心にシェアの向上や、販売地域、チャネルの拡大に積極的に取り組みました。売上面では、主力アイテムのブラジャーやボトム商品が総じて好調に推移したことや、インターネット販売、カナダ事業が伸長したことにより前年同期を上回りました。また、利益面では

売上の増加に伴い、営業利益は前年同期を上回りました。

中国ワコール（1～9月）につきましては、収益性の改善や中間層市場への浸透に取り組みました。売上は商品力や販売力の向上、顧客に対する販促策の効果やインターネット販売が拡大したことなどにより、前年同期を上回りました。また、中間層市場に向けたファッショナブルで価格競争力のある新ブランド『LA ROSA BELLE（ラ・ロッサベル）』は百貨店への出店も開始し堅調に推移しました。利益面では売上の増加に加え、原価低減や不採算ブランドの廃止、店舗の見直しなどの効果により、前年同期の営業損失から黒字に転換しました。

ワコールイヴィデン（1～9月）につきましては、引き続き大きなカップサイズのブラジャーを強みとして、英国、ユーロ圏諸国、北米、豪州の各地域において、グループの事業シナジーを高めながら、市場シェアの拡大と収益力の向上に努めました。主カブランドの「Fantasie（ファンタジー）」が、品質・価格面の優位性から、全ての市場で売上を牽引しました。また、豊満体型向けブランドの「Elomi（エロミ）」は、水着とともに商品開発の強化が奏功し、米国をはじめ主要市場で好調に推移しました。7月にはワコールイヴィデンの販売網を活かして、ワコールブランド商品の取扱いを、オーストラリアとニュージーランドで開始しました。一方、英国やユーロ圏諸国では消費の停滞感や天候不順の影響により、主要百貨店などの在庫調整が強まり苦戦をしましたが、全体の売上は為替の影響もあり、計画を上回りました。利益面では、収益性が高い北米地域の売上構成比が高まったことに加え、低採算事業の効率向上や原価低減を継続したこと、また経費抑制により、営業利益は現地通貨ベースにおいても計画を上回りました。

なお、ワコール事業（海外）セグメントの売上高、営業利益が大幅に増加しておりますが、為替の影響に加え、ワコールイヴィデンの業績が前期は第2四半期から連結されていることによります。また、今期より同社はその他セグメントから、当セグメントに変更しており、これに伴い、前年実績も組み替えています。

●売上高	327億39百万円	（前年同期比	48.5%増）
●営業利益	39億51百万円	（前年同期比	164.3%増）

c. ピーチ・ジョン事業

主力の通販カタログは、新商品のブラジャーが好調に推移したことや割引クーポンなどの販促策が奏功し、前年同期を上回りました。

国内直営店は、新商品の好調に加え、年末のセールや店頭での販促策を実施したことにより、前年同期を上回りました。また、海外直営店につきましては、中国は苦戦しましたが、香港の直営店は商品政策の強化や固定客化が進んだことで堅調に推移しました。

これらの結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上は前年同期並みとなりました。利益面では、為替の影響を受け原価率が上昇し、営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	92億82百万円	（前年同期比	0.2%増）
●営業利益	2億73百万円	（前年同期比	28.2%減）

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、大手得意先に対して主力のインナーウェアやアウターウェアの納品が低調に推移したことなどにより、全体の売上は前年同期を下回りました。利益面については、売上の減少に加え、為替の影響を受け原価率が上昇し、営業損失となりました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩につきましては、得意先の投資抑制による影響で物販やレンタル事業が苦戦しましたが、工事業は物件の受注が増加したことにより堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。利益面では経費の削減などにより前年同期を上回りました。

これらの結果、その他セグメント全体の売上は前年同期並みとなりましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	141億95百万円	(前年同期比	0.6%増)
●営業利益	1億86百万円	(前年同期比	74.2%減)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び現金同等物や投資有価証券評価額の増加などにより、前連結会計年度末に比して161億37百万円増加し、2,699億40百万円となりました。

負債の部は、未払金や未払税金の減少などにより、前連結会計年度末に比して7億9百万円減少し、650億90百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定や未実現有価証券評価損益の増加などにより、前連結会計年度末に比して166億75百万円増加し、2,025億15百万円となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して1.8%増加し、75.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して82億60百万円増加し、331億20百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益97億24百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、87億38百万円の収入(前年同期に比し26億85百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還収入や投資の売却収入などにより、31億55百万円の収入(前年同期に比し263億26百万円の収入増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、43億96百万円の支出(前年同期に比し103億26百万円の支出増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想数値につきましては、平成25年10月31日発表時から変更はありません。なお、当連結会計年度末において、より適正な期間損益を連結財務諸表に反映させるため、一部の連結子会社について、従来の決算日から当社の決算日である3月31日に決算日を変更する予定です。これに伴い、前期増減率を組替再表示しております。

国内事業におきましては、消費増税前の市場環境の変化に注視しつつ、拡大余地のあるエリアや価格帯、年齢層にアプローチし、売上シェアの拡大を図るとともに、レディスインナー事業以外のウエルネス事業やメンズインナー事業についても新たな売上の柱とすべく体制整備を図ります。

海外事業におきましては、ワコールイヴィデンを中心とした欧州事業の基盤整備と市場地位の確立に取り組むと同時に、引き続き米州の新規事業開拓、中国の収益性改善を推進します。また、各子会社間のグループシナジー発揮による売上拡大を図ります。

グループ全体としましては、アジア各国の賃金や物価の上昇、また円安の進行に対応し、原価の維持低減を図るために、ASEAN地域を中心に低コスト生産体制を整備、強化します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	24,860	33,120	8,260
定期預金	1,914	1,120	△ 794
有価証券	4,601	3,774	△ 827
売掛債権	23,443	22,820	△ 623
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 1,872	△ 2,552	△ 680
たな卸資産	37,807	41,114	3,307
繰延税金資産	4,821	4,582	△ 239
その他の流動資産	7,644	4,210	△ 3,434
流動資産合計	103,218	108,188	4,970
II. 有形固定資産			
土地	21,945	22,014	69
建物及び構築物	61,455	62,688	1,233
機械装置及び工具器具備品等	15,076	15,619	543
建設仮勘定	136	119	△ 17
	98,612	100,440	1,828
減価償却累計額	△ 48,952	△ 51,223	△ 2,271
有形固定資産合計	49,660	49,217	△ 443
III. その他の資産			
関連会社投資	17,599	19,193	1,594
投資	42,368	49,609	7,241
のれん	20,148	21,652	1,504
その他の無形固定資産	12,817	13,188	371
繰延税金資産	1,085	1,135	50
その他	6,908	7,758	850
その他の資産合計	100,925	112,535	11,610
資産合計	253,803	269,940	16,137

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	16,259	16,871	612
買掛債務			
支払手形	1,442	1,714	272
買掛金	10,859	11,120	261
未払金	6,069	4,553	△ 1,516
	18,370	17,387	△ 983
未払給料及び賞与	6,897	5,439	△ 1,458
未払税金	4,479	2,469	△ 2,010
その他の流動負債	4,605	5,581	976
流動負債合計	50,610	47,747	△ 2,863
II. 固定負債			
退職給付引当金	1,802	1,805	3
繰延税金負債	10,181	13,144	2,963
その他の固定負債	3,206	2,394	△ 812
固定負債合計	15,189	17,343	2,154
負債合計	65,799	65,090	△ 709
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,514	29,566	52
III. 利益剰余金	145,049	150,602	5,553
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	△ 6,473	△ 42	6,431
未実現有価証券評価損益	9,310	13,783	4,473
年金債務調整勘定	△ 1,928	△ 1,757	171
V. 自己株式	△ 2,892	△ 2,897	△ 5
株主資本合計	185,840	202,515	16,675
VI. 非支配持分	2,164	2,335	171
資本合計	188,004	204,850	16,846
負債及び資本合計	253,803	269,940	16,137

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	135,547	100.0	145,975	100.0	10,428
II. 営業費用					
売上原価	63,111	46.6	67,354	46.1	4,243
販売費及び一般管理費	60,904	44.9	64,850	44.5	3,946
営業費用合計	124,015	91.5	132,204	90.6	8,189
営業利益	11,532	8.5	13,771	9.4	2,239
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	66		72		6
支払利息	△ 132		△ 94		38
受取配当金	742		787		45
有価証券・投資有価証券売却 及び交換損益(純額)	26		13		△ 13
有価証券・投資有価証券 評価損益(純額)	△ 354		2		356
その他の損益(純額)	△ 278		453		731
その他の収益・費用合計	70	0.0	1,233	0.9	1,163
税引前四半期純利益	11,602	8.5	15,004	10.3	3,402
法人税等	5,174	3.8	6,023	4.1	849
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	6,428	4.7	8,981	6.2	2,553
持分法による投資損益	805	0.6	743	0.5	△ 62
四半期純利益	7,233	5.3	9,724	6.7	2,491
非支配持分帰属損益	△ 167	△ 0.1	△ 227	△ 0.2	△ 60
当社株主に帰属する四半期純利益	7,066	5.2	9,497	6.5	2,431

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	7,233		9,724		2,491
II. その他の包括損益 — 税効果調整後					
為替換算調整勘定	△ 770		6,514		7,284
未実現有価証券評価損益	503		4,477		3,974
年金債務調整勘定	336		171		△ 165
その他の包括損益 合計	69		11,162		11,093
四半期包括損益	7,302		20,886		13,584
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 175		△ 314		△ 139
当社株主に帰属する四半期包括損益	7,127		20,572		13,445

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)	(自 平成25年 4月 1日 至 平成25年12月31日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	7,233	9,724
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	3,509	3,736
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金	717	605
(3)繰延税金	46	150
(4)固定資産除売却損益	29	35
(5)有価証券・投資有価証券売却及び交換損益	△ 26	△ 13
(6)有価証券・投資有価証券評価損益	354	△ 2
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 235	△ 35
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少	2,256	1,297
たな卸資産の減少(△増加)	230	△ 1,777
その他の流動資産等の増加	△ 470	△ 148
買掛債務の減少	△ 3,309	△ 1,097
退職給付引当金の減少	△ 552	△ 618
その他の負債等の増加(△減少)	1,156	△ 2,980
(9)その他	485	△ 139
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,423	8,738
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 1,170	△ 719
2. 定期預金の減少額	410	1,661
3. 有価証券の売却及び償還収入	1,025	1,256
4. 有価証券の取得	△ 475	△ 114
5. 有形固定資産の売却収入	35	57
6. 有形固定資産の取得	△ 1,656	△ 1,778
7. 無形固定資産の取得	△ 579	△ 762
8. 投資の売却収入	95	3,825
9. 投資の取得	△ 3,721	△ 258
10. 子会社取得による支出(取得した現金との純額)	△ 16,906	△ 0
11. その他	△ 229	△ 13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,171	3,155
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増加額	10,722	495
2. 長期債務による調達	2,037	—
3. 長期債務の返済	△ 2,808	△ 799
4. 自己株式の取得	△ 8	△ 5
5. 自己株式の売却	0	—
6. 当社株主への配当金支払額	△ 3,944	△ 3,944
7. 非支配持分への配当金支払額	△ 69	△ 143
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,930	△ 4,396
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 521	763
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 6,339	8,260
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	29,985	24,860
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	23,646	33,120

補足情報

現金支払額		
利息	121	98
法人税等	3,827	7,675
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	279	136

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	90,126	22,050	9,261	14,110	135,547	—	135,547
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,800	5,702	149	4,030	11,681	△ 11,681	—
計	91,926	27,752	9,410	18,140	147,228	△ 11,681	135,547
営業利益	8,937	1,495	380	720	11,532	—	11,532

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	89,759	32,739	9,282	14,195	145,975	—	145,975
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,713	6,355	348	3,926	12,342	△ 12,342	—
計	91,472	39,094	9,630	18,121	158,317	△ 12,342	145,975
営業利益	9,361	3,951	273	186	13,771	—	13,771

(注) 1. 各事業の主な製品

ワコール事業(国内) …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他

ワコール事業(海外) …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他

ピーチ・ジョン事業 …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品他

その他 …… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキヨ人形、店舗設計・施工他

2. セグメント情報の変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、社内組織をベースとした内部報告セグメントの構成の変更に基づき、従来、その他セグメントに含めておりましたワコールイヴィデンをワコール事業(海外)セグメントへ含めて開示しております。

この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のオペレーティング・セグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき組替再表示しております。

② 地域別情報

前第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	112,916	9,360	13,271	135,547
構成比	83.3%	6.9%	9.8%	100.0%
営業利益	10,192	362	978	11,532

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	112,873	11,111	21,991	145,975
構成比	77.3%	7.6%	15.1%	100.0%
営業利益	9,776	841	3,154	13,771

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第3四半期 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日		当第3四半期 自平成25年4月1日 至平成25年12月31日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	100,047	73.8	108,620	74.4	8,573	8.6
	ナイトウェア	7,410	5.5	7,416	5.1	6	0.1
	リトルインナー	1,245	0.9	1,203	0.8	△42	△3.4
	計	108,702	80.2	117,239	80.3	8,537	7.9
アウターウェア ・スポーツウェア等		12,654	9.3	12,951	8.9	297	2.3
レッグニット		1,265	0.9	1,399	1.0	134	10.6
その他繊維製品 及び関連製品		5,685	4.2	6,798	4.6	1,113	19.6
その他		7,241	5.4	7,588	5.2	347	4.8
合計		135,547	100.0	145,975	100.0	10,428	7.7